



やすひさの瓦版 (第120号)

Home-page <https://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

2021年4月14日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久

〒790-0003 松山市三番町4丁目7-2 グランディア三番町ビル階
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

モチベーション高い感染対策と検査徹底で、社会経済を回す

新型コロナウイルス感染症が始まって一年余り。攻めの対策不足により、第四波が現実化しつつあります。波が来る度に時短などの営業自粛で、社会経済的「ストップ・アンド・ゴー」を繰り返し、松山市内の多くの方々の疲れも忍耐も、限界に近づいていることを肌で感じます。

そのような中、山梨県では、飲食業など接客業において、行政、店舗、お客様の各々が、責任と、負担と、リスクを分担しながら、それぞれのプレイヤーが自らの問題として、モチベーション高く、真剣に取り組む「グリーン・ゾーン認証制度」が評価されています。この制度では、休業要請も、時短要請も、そして経済的補償もない中、今ではお客様はグリーンの認証ステッカーを貼った店を自然と選ぶ、なかなか良く考えられた感染症対策で、新規感染者数を抑える良い結果を出している良いモデルだと思います。

この制度の運営は民間旅行会社に委託され、受託会社は39項目に上る感染対策の導入指導を一店舗ずつ丁寧に行った上で認証します。お客様はその感染対策要件が守られていないときは県にメールで通報し、抜き打ち検査や認証取り消しもあり得ます。店側にとってはお客様に批判され敬遠されることが最も大きなダメージなので、経

済的補償なしでも、自然と感染対策を頑張り、より多くのお客様に来て頂き、売り上げアップを実現させる努力をしています。「本業収入増こそ最大の補償」、という訳です。

経済を本格的に回すためには、こうした徹底した感染対策に加え、店舗で働く方々も、JOCがオリ・パラ選手等に課する「4日に一回(週に2回)のPCR検査」を実施し、お客様側も「コロナ陰性証明」や「ワクチン証明」の提示を入店時に行い、差別に繋がらない何らかの優遇を受けられる仕組みを組み合わせれば、さらに良いと思います。

3回のロックダウンを乗り越え、変異株を抑え込み、今や一日の死者も10名程度まで来た英国は、大規模検査体制を4月初に発表、誰でも週2回、最大一日2百万件の検査可能とします。日本でも、これに、徹底したワクチン接種を組み合わせれば、「コロナフリー社会」が可能となり、「ニューノーマル」な社会経済活動を再構築できるはずです。あとは、時折起きる市中感染は瞬時に地域限定、期間限定の強い対応で抑え込めば良いでしょう。

本来の社会経済活動による収入こそ、最大の補償。この原点に早期に戻るべきで、そうした政策導入に向け、引き続き全力を傾注します。



「変異株」には官民の総力戦で立ち向う
(3/17、西村大臣室)

官民合同チームによる全ての新型コロナウイルス感染ケースでの全ゲノム解析実施を目指す、「変異株」に関する自民党緊急提言を西村大臣に手交。



時短も補償もない感染対策
(4/2、BS-TBS『報道1930』)

時短要請も補償もなしに、行政、飲食店、お客様の3者が自らの意志と責任で万全の感染対策を実現する山梨県の「グリーン・ゾーン認証」から学ぶ。

『真に』子どもにやさしい社会を』

虐待児等の「一時保護」時の司法関与を義務化すべき

逮捕によって大人の身柄を拘束するためには、裁判所の令状が必要です。警察や検察などの行政だけの判断では、自由を奪うことにより基本的人権を不当に犯す可能性があるからです。

ところが、被虐待児を守るための、行政たる児童相談所による子どもの「一時保護」には、裁判所の許可が要りません。子どもと親双方の基本的人権を侵害する可能性のある「一時保護」に、裁判所関与が要らないはずはなく、国連からも「日本は人権上問題あり」との勧告を受けています。

平成29年改正児童福祉法で初めて、親が異議を唱えた場合に限り、2か月を超える「一時保護」を続ける場合には裁判所の許可が必要になりました。しかし、本来、全ての「一時保護」の開始時に、司法関与を義務化しなければ、不当な権利侵害が頻発してしまうことを回避できません。今こそ、この制度・法律改正をすべきです。



児相常勤弁護士の土居弁護士（和歌山）、橋本弁護士（名古屋からオンライン参加）から、「一時保護」時の司法関与の義務化問題を聞く（3/2、児童養護合同議連）

「2030年までにマラリアをなくす！」 （3/25、参・議員会館）



WHOによると、2018年中の世界のマラリア感染者は228百万人、死者数は約40万人。この度、超党派により発足した「2030年までにマラリアをなくすための議員連盟」の会長に就任。グローバルファンドの國井局長もジュネーブからオンライン参加。

「鐵に命を吹き込む」白鷹翁の足跡を訪ねる（3/7、愛媛人物博物館、松山市上野）



松山市が輩出した名鍛冶師であった白鷹幸伯の企画展を訪れる。薬師寺、明治神宮など全国多くの神社仏閣などの再建等で使われている。白鷹幸伯の最初の大きな仕事は、奈良の薬師寺西塔の再建にあたって、7,000本の和釘を納めたとのこと。

今朝も街頭演説で訴える （3/8、JR松山駅前）



約29年間、毎週続ける月曜日のJR松山駅前での街頭演説。今日も通勤、通学の皆さまに訴える。

新事務所 紹介



松山事務所一同



自民党は
党員を募集しています！



お問い合わせ/
自由民主党愛媛県第一選挙区支部
（支部長 塩崎恭久）
TEL.089-941-4843

メルマガ会員募集

メルマガでは、新型コロナウイルス対策の主張提言やメディア出演情報などを発信しています。ご希望の方は塩崎やすひさ公式HP又は枠内のQRコードでご登録よろしくお願いいたします。



ポスター掲示のサポーター募集

選挙区内のご自宅・会社等にポスター掲示板を設置して下さるサポーターを募集しています。ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、塩崎やすひさ松山事務所にまでご連絡をよろしくお願い申し上げます。